

刊夕日六十二月七



一ヶ月 廿五日
郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢
物所指定 廿錢
發行所 谷政
新島平町大町五
新いわき新聞社

フレッシュと云ふのは
新鮮な生々とした事
此の果物はフレッシュ
だなど云ふ又フレッシュ
シと云へば肉或は肉食
のこと更にフレッシュ
クと云へば祝福、天恵
幸福などのことを云ふ

非常時に應はしい

石城の縣議補欠戦

赤裸々にした價値が何れにある
手前味噌の宣傳より實力

石城政友派が縣議補欠選挙に
民政派との握手がつかぬ對戦
策の協議會は昨紙所報の如く
廿五日の幹部會で急よ赤坂龜
次郎氏の推薦を決したので目
下上京中である同氏への交渉
の爲め廿六日朝
鈴木代議士 井上茂作 安
島重三郎 古川傳一
の四氏上京晩年の雄を揮つて
欲しい希望その他郡内に於け
る吾が黨の事情を訴へ奮起を
促される筈であつて政友會
の意向は萬一同氏の承諾を得

海水浴客で 平驛乗降激増

土用に入つてから連日の暑さ
つゞきで石城各派は非常な賑
はひを見せてゐるが土用第一
丑の日二十二日から昨日まで
の平驛の乗降客は左の如く平
日の乗降千五、六百人に比し
毎日二千人から五、六千人入

乗車	降車
廿二日 三、四〇〇	三、二〇〇
廿三日 三、五〇〇	三、三〇〇
廿四日 三、八〇〇	三、六〇〇
廿五日 四、〇〇〇	三、八〇〇

劍客室直與翁 謝恩劍道大會

今秋十月平町で開催
舊平瀨劍道指南役で聲中創立
以來二十十年に亘り同校の劍

鈴木部長出場

道師範であつた室直與翁は目
下平町南町馬目誠氏邸で老後
の閑日月を樂しんでゐるが翁
の教へを受けた石城劍道會は
じめ郡下の劍道同好者は來る
十月中旬翁の米壽の賀を祝す
ため平町で室翁謝恩郡下劍
道大會を開催、翁に慰勞記念
品を贈る計畫である

平局の保險集金員

日光華嚴瀧で情死

夫婦になれぬのを悲觀し

飯野村の中農の娘

二十三日午後一時半頃日光華
嚴瀧へ飛込み抱合ひ心中をと
けた若い男女があつたが檢死
の結果、男は内郷村大字御鷹
久助次男野野三三三女は飯
野村大字北白土字鹽内一四鹽
ツルヨ(四)と判明、通知によ
り二十五日親が引取りに向つ

行政區長招集

平町役場では最初の試みとし
て全町の行政區長を招集して
來月上旬行政區長會を開き役
場、各行政區間の事務取扱ひ
町治運行上につき種々懇談的
協議を行ふことになららしい

第二校委員會

平第三小學校増築臨時委員會
は二十七日午後一時から開き
建築期日その他を協議する
衛生區長變更 平町第十三
區(南町)衛生區長は此程満期

縣下に名を馳せた

磐中野球部選手歸る

けふ午後零時五十五分

縣下中等學校野球大會の晴れ
の決勝戦に縣下第一の強豪福
島中學と戦つて惜敗し磐陽健
児の名を縣下にはせした磐中野
球部選手は二十六日午後零時
五十五分着列車で歸平、驛頭
四分着列車で歸平した

福中この一戦に

磐中は何故敗れたか

諦めがたき誤審

熊謙次郎氏にきく

母校の榮譽を一身に擔ひ決勝
戦までに至る戦績に於てまた
當日のフィールドに於ける
の攻守ともに彼に優り彼等及
び福島地元ファンをして色を
なせしめた磐中がなぜ福中の
ために「この一戦に敗れて苦
盆をなめさせられたか?」こ
の敗因について、應援團一行
の中に加はつて終始聲援を惜
しまなかつた磐陽野球部の天
眼熊謙次郎氏にきく

第七回まで六對六のスコ
アのまゝ八回に進み福中二
死満塁のとき福中二階堂の
遊撃ゴロは當然遊撃これを
遊撃ゴロは當然遊撃これを
一塁に送りチェンジと思は
れたが如何なる球魔のいた
づらか遊撃直前に於て猛烈
なインレギュラーバンドして
流石の名遊撃手小井戸も手
の下しやうなく此間計三點
を奪はれたこと

杉浦君經過良

福中に決して勝つた
、來る八月二日から東北
大會に於ては更に緊陣一番甲
子園めざして奮闘を望むもの
である

好

尚福島中學との決勝戦第九回
に三壘打を放ち三壘にスライ
ドの際倒負傷して福島市大
原病院に入院した磐中杉浦捕
手は經過良好で今日退院し同
行選手と共に歸平した

車庫から盗む

當時住所不定無職大浦村下仁
井田一七五根本満(三)は二十
四日午後十時頃平町三丁目芹
澤自動車部車庫に忍び入り洋
服上衣價格二十圓及び萬年筆
を窃取し二十五日平署に檢舉
された、余罪ある見込みで引
續き取調べ中

小麥共同販賣

平農業倉庫の第二回小麥共同
販賣は來月五日に開く
テフス 磐崎村上湯長谷木
村仲利(四)は二十五日猩紅熱
と決定隔離された

絲姬達の

平町の片倉製糸工場では昨今
の酷暑作業に萬全の設備を添
え夏季の衛生に心を配つてあ
るので従業男女工四百五十名
の大世帯に健康を害ふものも
なく片倉系統社中に於て優秀
な業績を上げてゐるが來八月
六日は工場全員慰安の爲め山
本所長、中村事務長等の引率
で四倉海岸に海水浴を行ひ夏
の海邊に糸姫達をして終日樂
しませると

海水浴

片倉製糸が四倉で
平町の片倉製糸工場では昨今
の酷暑作業に萬全の設備を添
え夏季の衛生に心を配つてあ
るので従業男女工四百五十名
の大世帯に健康を害ふものも
なく片倉系統社中に於て優秀
な業績を上げてゐるが來八月
六日は工場全員慰安の爲め山
本所長、中村事務長等の引率
で四倉海岸に海水浴を行ひ夏
の海邊に糸姫達をして終日樂
しませると

句會の記

滿壽莊主人
本月十八日久し振りに平町
へ出向ひて見たら折良くマル
トモホールで前田普羅先生の
歡迎會があると云ふので出
席した其席上前田先生の撰拔
せられた句及其句に就て先生
の撰拔せられた事をチヨイチ
ヨイ書留めて来たからそれを
纏めやうと思つてゐたが俗用
多端であつたり炎暑酷烈であ
つたりといふ今日迄のびくにな
つた漸く一通り纏まりがつ
いたから新しいわきの紙を借
りて發表して見ませう當日の
兼題は(雲の峰)夏の聲で集
句三百許りの中から撰拔せ
られたのが左の十數句であり
ます(但し作者名はわざと省
きました)

△世界館 ◎新興時代劇
渡邊新太郎監督 嵐璃徳
望月禮子主演【御意見番登
城】◎新興現代劇 渡邊新
太郎監督 菅井一郎 桂た
ま子 水原玲子主演【魁へ
る晩】◎阪妻プロ 東隆史
監督 阪東妻三郎 櫻木梅
子主演【お好み安兵衛】

暑中御伺

平町長 青沼鋒太郎

福島縣農工銀行 平支店長 河西八十吉

平町古銀治町 木澤常松

大谷時計店

平町三丁目 電話一九番

石城郡學校長會

木炭移出問屋

草野米彌商店

磐越東線小川郷驛前

良品廉賣に優る

釜屋商店

商略なし

東部電力株式會社

平營業所

電話七五番

東神火災保險株式會社 磐城代理店

河田鐵工場

河田梅吉

營業所 福島縣平町白銀町一
電話三三九番 二九五番
本社 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部 仙臺市大町三丁目

福島縣平町十五丁目廿六



常磐モリス株式會社

電話四六六番 振替東京〇九五一番

株主の幸福

一、年四分の報費金を差上げます(他に利益配當)
一、一世帯式千圓迄御貸付致します(株券の倍額)
一、株券御不用の場合には證券會社で御引受致し升
一、御貸付も御返済も株主本意に御取扱致します
一、法律經濟の御相談は無料で御引受致します

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

新しい柄と型

夏の涼しい清涼着

ご婦人向……才子さん向各種

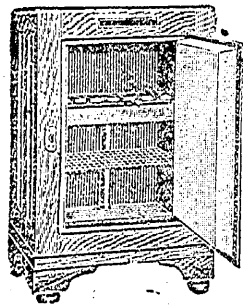
ヤルツ 番〇四一話電四平

冷却力が永久に衰へず

いつまでも使へる冷蔵庫

冷蔵庫は一夏や二夏で構造に狂ひが来て冷え方が弱る様では眞の文化的重寶と云ふ事が出来ません、其點で木材を最も廉價しそれを完全なる設備の下に數年間十二分に乾燥して使用する、丸ぼん冷蔵庫は絶対に狂ひを生ぜず永久によく冷る經濟的な冷蔵庫として御愛用の皆様の間に古くから多大の御信用を博して居ります

丸ぼん冷蔵庫 平町三丁目 電話三五九



岩谷冷蔵庫の代理店も致して居ります

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森勇

平町南町 (電二五八番)

和洋雜貨 釜屋商店

良品の自慢 牛も豚も

平町田町

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平町田町

サロンは御家庭の延長 御料理本位のサロン

これからの御飲物
フルウツ ボンチ 二十五錢
コール コーヒー 十五錢
一度當店のものを御試飲を乞ふ
佛蘭西料理 平町田町 電話三五二

入院 藤沼醫院 電話五〇七番

クスリの調合 平町五丁目角 山野邊藥局

郷土生藥の研究 和漢藥療法の研究 顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生指導 東華皇漢藥研究所 主任 藥劑士 山野邊東次郎

代理店募集 内勤、外勤數名採用 東京モリス勸業株式會社 平町立町一〇六

平出張所

外科 內臟外科 醫學士 內木 宗八
産科 婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町一九 電話一六四番 木村病院

一般印刷物も御引受致します 新新聞社